

## 調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	生活	2・東書	どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上  あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校で見付けたことを他者に伝えたり、町を探検したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができるようになっている。</li> <li>○ 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、動物を飼育して特徴を調べたり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくすることができるようになっている。</li> <li>○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分が成長したことをまとめたり、感謝の気持ちをお世話になった人に伝えたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、思いや願いを実現する登場人物を掲載したり、巻末に参考資料「かつどうべんりちょう」を設定するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>		
内 容 の 程 度 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、上巻に「どきどきわくわく1年生」の単元を設け、幼児期との連携を図るとともに、生活科の学びと中学年以降の学びのつながりをイメージできる「つながる ひろがる」を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるようにしている。 また、北海道にかかわりのある内容については、冬の行事として「さっぽろ雪まつり」が取り上げられている。</li> <li>○ 内容の分量については、18の単元で構成され、総ページ数は260ページで、前回より約9%増となっている。（判型はA4判）</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入では、大きなイラストと吹き出しで児童が活動している様子を示して興味を持てるようにするなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 各単元の最初のページに育成すべき資質・能力を吹き出しとイラストで示したり（全学年）、巻末に実物大の動植物を掲載した「ポケットずかん」を示したり（上巻）して、主体的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 全ての紙面に強い色彩の使用を避け、落ち着いた淡い色調を使用したり、掲載されているすべての文字をユニバーサルデザインフォントで統一したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>		
そ の 他			

## 調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	生活	4・大日本	たのしいせいかつ 上 なかよし 下 はっけん
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、校庭を探検して絵に表したり、インタビューカードを作成したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができるようになっている。</li> <li>○ 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、花や野菜を栽培し観察したり、楽しいおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくすることができるようになっている。</li> <li>○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分発見すごろくを製作したり、これからの自分についての手紙を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、「せいかつことば」や「がくしゅうどうぐばこ」を掲載するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>		
内 容 の 程 度 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、上巻冒頭にスタートカリキュラムに配慮したページを設け、幼児期との連携を図るとともに、これまでの成長を振り返る活動を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。</li> <li>○ 内容の分量については、9の単元で構成され、総ページ数は273ページで、前回より約4%増となっている。（判型はA B判）</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「探検カメラ」を活用し、見付けたことを記録したり（上巻）、透明シート「探検ライト」を使って夜の町の様子について考えたり（下巻）するなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元の導入にダイナミックな写真を示したり（全学年）、話形を示して児童自身の言葉を引き出す吹き出しを示したり（上巻）するなど、主体的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 全ての紙面に色覚の特性によらず情報が読み取れる配色をしたり、見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>		
そ の 他			

## 調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	生活	11・学図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ下
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校を探検して発見カードを製作したり、町探検すてき発見カードを製作したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</li> <li>○ 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、アサガオを栽培し観察したり、おもちゃの動かし方を調べたりする活動を通して、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</li> <li>○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、がんばったカードを製作したり、これからの私について作文を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、多様な対話活動の様子を掲載したり（全学年）、「学び方図かん」（全学年）を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>		
内 容 の 程 度 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、上巻巻頭に小学校生活へと円滑に移行できるよう単元を設定し、「はってん」で理科、社会科とのつながりを明示し、3年生の学習を見に行く活動を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 また、北海道にかかわりのある内容については、冬の行事として「旭川冬まつり」を取り上げている。</li> <li>○ 内容の分量については、11の単元で構成され、総ページ数は256ページで、前回より約2%減となっている。（判型はA4変判）</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元において、4人のキャラクターのつぶやきなどで、子どもの気づきの質を高めるなど（全学年）、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各単元のタイトルを工夫して自己決定の場の設定を示したり（全学年）、児童の学びが深まるよう2段階の学びの構成を示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての紙面で見やすく分かりやすい色使いにしたり、記号やマーク表示をできるだけ抑えて、シンプルで見やすい工夫をしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>		
そ の 他			

## 調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	生活	17・教出	せいかつ上 みんな なかよし  せいかつ下 なかよし ひろがれ
取 扱 内 容 ・ 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、校庭を散策して気付きの質を高めたり、町探検計画や地図を作成したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができるようになっている。</li> <li>○ 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、花を栽培したり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくすることができるようになっている。</li> <li>○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分探検カードを製作したり、3年生になることについて作文を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、育成する資質・能力を「サイコロ」のアイコンとして掲載したり、「学びのポケット」を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>		
内 容 の 程 度 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、上巻に幼児期の学びを生かす絵本を導入し、コラム「はってん」で理科、社会科とのつながりを位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。 また、北海道にかかわりのある内容については、旭山動物園や札幌時計台、さっぽろ雪まつりなどの写真が取り上げられている。</li> <li>○ 内容の分量については、16の単元で構成され、総ページ数は272ページで、前回より約16%増となっている。（判型はA B判）</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元末に学習の満足度をはかる「まんぞくハシゴ」を掲載したり（全学年）、キャラクターが児童と同一視線で試行錯誤したり（全学年）するなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 各単元の最初にインデックスを配置したり（全学年）、「もしも」のページを示したり（上下巻）するなどして、主体的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 全ての紙面に色覚等の特性に踏まえて判断しやすい配色をしたり、文字や記号を読みやすいよう写真やイラストに重ならないようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>		
そ の 他			

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	生活	26・信教	せいかつ上 あおぞら せいかつ下 そよかぜ
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校や校庭を探検したり、地域の語り部に歴史を聞いたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</li> <li>○ 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、動物を飼育したり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</li> <li>○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、小さい頃の自分について他者にインタビューしたり、周りの人への感謝の作文を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、吹き出しや表情豊かな写真、さし絵を掲載したり（全学年）、試す・確かめるなどの「探究活動」を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>		
内 容 の 程 度 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、上巻に「うれしいな、いちねんせい」の単元を設定し、幼児期の教育とのつながりを図るとともに、下巻では社会科と関連させ、地域調べと地図への表し方を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、30の単元で構成され、総ページ数は232ページで、前回より約12%増となっている。（判型はA B判）</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 季節を通じた野外の活動に関するページは、観音開きにししたり（上下巻）、伝統行事などに関わる単元では、切り絵によるさし絵を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各単元の見開きページ全面に写真や挿絵を掲載したり（全学年）、動植物との継続的なかわりを通じた体験を重視したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 絵や作文、身体表現や劇など多様な表現活動ができるよう配慮したり、日常生活や活動での安全確保に関する注意喚起の図や言葉を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>		
そ の 他			

## 調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	生活	38・光村	せいかつ上 まいにち あたらしい せいかつ下 だいすき みつけた
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、通学路の様子を調べたり、公共施設を探検したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</li> <li>○ 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、モルモットを飼育したり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</li> <li>○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、私のこと発表会をしたり、これからの自分についてまとめたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、各単元に「ホップ」のページで見通しを掲載したり（全学年）、「ステップ」のページで活動を深く豊かにするヒントを掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>		
内 容 の 程 度 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、上巻にスタートカリキュラムページを配し幼保との円滑な接続を図る、下巻に磁石で動くおもちゃを作る活動など、有機的に中学年に結び付けていく活動を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、16の単元で構成され、総ページ数は256ページで、前回より約14%増となっている。（判型はA B判）</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学びを記録するための、張り替え可能なシールを活用したり（全学年）、キャラクターを配置し、対話場面を数多く掲載（上下巻）したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各単元の学習活動を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で示したり（全学年）、「ステップ」の段階に活動を広げるヒントを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての紙面において文字と写真、写真と写真との区別を明確にしたり、色による識別に頼ることなく形や濃淡で識別できるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>		
そ の 他			

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	生活	61・啓林館	わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校のまわりを歩いたり、発見したことを伝えたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</li> <li>○ 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、生物を飼育して特徴を調べたり、おもちゃを製作をしたりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</li> <li>○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分の成長をまとめたり、ありがとうカードを製作したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、多様な学習活動例を掲載したり（全学年）、「ひろがるきもち」のコーナーで生活を豊かにしようとする姿を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>		
内 容 の 程 度 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、上巻に幼児期の学びや育ちを大切に「すたあとぶっく」を設定する、「3年生へのステップブック『みらいにむかって』」を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、北海道に関わりのある内容としては、冬の行事として「さっぽろ雪まつり」が取り上げられている。</li> <li>○ 内容の分量については、18の単元で構成され、総ページ数は287ページで、前回より約7%減となっている。（判型はA B判）</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターが気付きを促し疑問を投げかけるなど（全学年）、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各単元においてわくわくの扉を掲載し、単元の導入を工夫したり（全学年）、巻頭に学習過程「わくわく、いきいき、ぐんぐん」を示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての紙面に色覚特性への対応を示し、誰もが見やすく、読み間違いが少ないよう配慮したり、紙面上部に安全上の注意が必要な場面に「！」マークを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>		
そ の 他			

## 調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	生活	116・日文	わたしとせいかつ上 みんな なかよし わたしとせいかつ下 ふれあい だいすき
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、通学路を歩いてみたり、町の「すてき」を発表したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</li> <li>○ 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、小動物を飼育して特徴を調べたり、おもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</li> <li>○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分の成長に関するインタビューをしたり、成長発表会をしたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、「学びのまど」を掲載したり（全学年）、「ちえとわざのたからばこ」を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>		
内 容 の 程 度 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、幼児期の経験を生かす「いちねんせいになったら」や、「3年生になるのが楽しみだね」を位置付け、幼児期や中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 また、北海道にかかわりのある内容については、地域の施設として「旭山動物園」を取り上げている。</li> <li>○ 内容の分量については、17の単元で構成され、総ページ数は278ページで、前回より約3%増となっている。（判型はA B判）</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターが気付きのポイントや学習のヒントを提示するなど（全学年）、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各単元で「学習のめあて」を表示したり（全学年）、小単元の導入場面に「考えるための技法」を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての紙面で文字の大きさ、色づかいを工夫するなど、カラーユニバーサルデザインに配慮したり、下巻巻末に実物大の点字を触って体験できる紙面を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>		
そ の 他			